

事業報告書（概要）

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

西鉄学園は日本の経済成長が始まった昭和37年に、来るべき自動車社会を支えていく人材を育成することを目的に学校法人西鉄自動車学校を設立し、運転の教習を行う教習部門と自動車の構造・整備を教育する整備部門の2部門を備えた学校として誕生しました。その後経済の成熟化に伴う人々の生活水準の向上による、旅行や観光に関わるサービスの高度化が求められる時代の到来に対応し、当学園は平成4年に法人名を学校法人西鉄学園に改め、時代の要請に応える新たな学校として平成6年に国際ビジネスカレッジを開校し3校を擁する現在の姿になりました。

自動車学校は運転免許取得のための教習のほか地域の交通安全に寄与する活動を行い、2校の専門学校は、2級自動車整備士養成ならびに観光業界等に寄与する専門士（商業実務専門課程）養成を行っております。

(2) 学校法人の沿革

昭和37年 2月	学校法人西鉄自動車学校設置認可
昭和37年 4月	西鉄自動車学校および自動車整備科（3級整備士養成指定校）開校
昭和37年 11月	指定自動車教習所として指定（大型自動車）を受ける 以降 指定教習車種を追加
昭和39年 3月	第一種自動車整備士養成施設指定校として認可を受ける
昭和52年 5月	自動車整備士養成施設（第一種）の変更 3級自動車整備士養成課程を2級自動車整備士養成課程へ
昭和52年 12月	私立専修学校西鉄自動車整備専門学校設置認可
昭和53年 4月	西鉄自動車整備専門学校 開校
平成 4年 11月	学校法人の名称を西鉄学園に変更
平成 6年 3月	私立専修学校専門学校国際ビジネスカレッジ設置認可
平成 6年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジ開校
平成12年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジを専門学校西鉄国際ビジネスカレッジに 名称変更

(3) 設置する学校・学科（令和元年5月1日現在）

学校名	開校年月	学科名	
西鉄自動車学校	昭和37年4月	—	
西鉄自動車整備専門学校	昭和37年4月	工業専門課程 職業実践専門課程	自動車整備科 留学生自動車整備士コース
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ	平成 6年4月	商業実務専門課程 職業実践専門課程 (夜間総合観光科除く)	ホテル・ブライダル科 観光科 鉄道科 エアライン科 国際ホテルマネジメント科 夜間総合観光科

(4) 学校・学科の学生数（令和元年5月1日現在）

(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	現員数
西鉄自動車学校	—	—	495
西鉄自動車整備専門学校	自動車整備科	35	62
	留学生自動車整備士コース	35	22
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	ホテル・ブライダル科	80	96
	観光科	30	19
	トラベル科（2年生のみ）	—	18
	鉄道科	50	63
	エアライン科	80	145
	国際ホテルマネジメント科	30	57
	夜間総合観光科	30	26
合 計		370	1,003

(注)1 現員数は1～3学年の合計

(注)2 海外実習生は含まない

(5) 役員の概要（令和元年5月1日現在）

区分	氏名	摘要
理 事 長	中尾 和毅	平成28年6月理事長就任
常 務 理 事	福島 博文	平成30年4月常務理事就任 (西鉄自動車学校校長)
理 事	椎葉小夜子	平成24年6月理事就任 (専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ校長) (西鉄自動車整備専門学校校長)
理 事	池上 晃	平成27年6月理事就任
理 事	西村 憲治	平成27年6月理事就任
理 事	野寄 武秀	平成31年4月理事就任
理 事	山下 勝義	平成31年4月理事就任
監 事	相田 安浩	平成29年6月監事就任
監 事	塩塚 清隆	平成31年4月監事就任

(注)役員の定員数は理事8名、監事2名

(6) 教職員の概要（令和元年5月1日現在）

（単位：人）

区分		法人本部	西鉄 自動車学校	西鉄 自動車整備 専門学校	専門学校 西鉄国際 ビジネスカレッジ	計
教 員	本務		32	8	17	57
	兼務		5	4	38	47
職 員	本務	5	6	2	10	23
	兼務	3	7	1		11
計		8	50	15	65	138

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学園を取り巻く環境の中で3校ともに業績に大きく影響する要素としては「18歳人口の減少」が挙げられます。文部科学省によれば、平成21年から令和2年頃までほぼ横ばいで推移し、令和3年頃から再び減少に転じると予測されており、今後厳しい状況が加速すると考えられます。

(2) 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

<西鉄自動車学校>

西鉄自動車学校においては18歳人口の減少や若者の車離れによって、収益の主力である普通一種免許の需要が減少傾向になると予想されますが、大型一種をはじめとする他の車種の需要を確実に取込むとともに、増加の一途をたどる高齢者に対する「高齢者講習」および一般企業の「安全運転研修」に積極的に取り組むことにより安定的な収益の確保に努めてまいります。

<西鉄自動車整備専門学校>

西鉄自動車整備専門学校においては、自動車業界との産学連携を深化させ、文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」による職業教育の質の向上に努めてまいります。2級整備士国家試験の「合格率の高さ」と「就職率の高さ」を一層アピールし新入生の獲得を行ってまいります。平成31年4月開講の「留学生自動車整備士コース」では、留学生の生活指導、学習、就職支援により、企業が求める人材の育成に努め、留学生や企業から選ばれる学校を目指します。

<専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

西鉄国際ビジネスカレッジにおいては、文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」による職業教育の質の向上に努め、業界への「就職率の高さ」や世界を舞台にした「グローバルな活躍」をアピールしながら、新入生の獲得を行ってまいります。また、「国際ホテルマネジメント科」を軸に、多国籍の留学生の獲得を拡大させるとともに、日常的な交流を通じて、さらなるグローバル化の推進に取り組み、魅力ある教育内容の充実に努めてまいります。

資金収支計算書（要約）

平成30年 4月 1日 から
平成31年 3月31日 まで

（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	915,532
手数料収入等	38,631
付随事業・収益事業収入	58,798
受取利息・配当金収入	538
雑収入	2,539
前受金等収入	253,691
その他の収入	617,121
資金収入調整勘定	△285,110
前年度繰越支払資金	1,070,853
収入の部合計	2,672,595

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	489,857
経費支出	403,873
施設関係支出	16,370
設備関係支出	42,041
その他の支出	674,735
資金支出調整勘定	△55,017
翌年度繰越支払資金	1,100,735
支出の部合計	2,672,595

事業活動収支計算書（要約）

平成30年 4月 1日 から

平成31年 3月31日 まで

（単位：千円）

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		学生生徒等納付金	915,532
		手数料等	35,297
		付随事業収入	58,659
		雑収入	2,212
		教育活動収入計	1,011,701
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		人件費	502,713
		経費	459,739
		徴収不能額等	885
教育活動支出計		963,337	
教育活動収支差額		48,363	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		教育活動外収入計	677
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		教育活動外支出計	13,231
	教育活動外収支差額		△12,553
経常収支差額		35,810	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		特別収入計	3,605
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		特別支出計	6,433
特別収支差額		△2,827	
基本金組入前当年度収支差額		32,983	
基本金組入額合計		△31,101	
当年度収支差額		1,881	
前年度繰越収支差額		△467,783	
基本金取崩額		—	
翌年度繰越収支差額		△465,901	

貸借対照表(要約)

平成31年 3月31日

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	1,416,935
有形固定資産	1,393,444
土地	936,954
建物	369,849
その他	86,639
その他の固定資産	23,491
流動資産	1,138,330
現金預金	1,100,735
未収入金	17,261
その他	20,334
資産の部合計	2,555,265

負債の部	
科 目	金 額
固定負債	92,217
退職給与引当金	90,949
その他	1,267
流動負債	382,447
未払金	90,045
前受金	251,142
その他	41,259
負債の部合計	474,664
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	2,546,502
繰越収支差額	△465,901
純資産の部合計	2,080,600
負債及び純資産の部合計	2,555,265

財産目録

平成31年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
資産額	
基本財産	1,393,444
土地	936,954
建物	369,849
その他	86,639
運用財産	1,161,821
現金預金	1,100,735
未収入金	17,261
その他	43,825
資産額合計	2,555,265
負債額	
固定負債	92,217
退職給与引当金	90,949
その他	1,267
流動負債	382,447
未払金	90,045
前受金	251,142
その他	41,259
負債額合計	474,664
正味財産	2,080,600

令和元年5月17日

監査報告書

学校法人西鉄学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 相田 安浩



監事 塩塚 清隆



私たちは、私立学校法第37条第3項および学校法人西鉄学園寄附行為第12条の規定に基づき、学校法人西鉄学園の平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の業務ならびに財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事相田安浩は、理事会に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、本部および各学校において必要と思われる調査を実施しました。

監事塩塚清隆は、就任前の期間における監査事項につき在任監事等より説明を聴くとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書）および事業報告書に関する説明を受け、かつ必要と認められる方法を実施して、その正確性を検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類等および事業報告書の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況および財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上